

重度高次脳機能障害のある方が、 10時間の短時間雇用で活躍できる 要因についての分析 —企業と就労移行支援事業所の視点から—

萩原 敦（NPO法人クロスジョブ クロスジョブ福岡 管理者兼サービス管理責任者）
川嶋 紀（医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院 環境整備室）

はじめに

時間雇用に至っ

就労移行支援での
強みの整理

企業との出会い

実習～雇用での
綿密なステップアップ

ナチュラルサポート
による雇用の継続



重度の高次脳機能障害があっても
1年間の就労継続できた



ケース紹介

バイクによる外傷性脳挫傷と、経過

X年 交通外傷

大学卒業後、IT系会社で
営業職 2 年目
四肢の不全麻痺と高次脳
機能障害が残存。

X + 7 年 就労移行利用開始

病院でのリハビリやリハ
ビリセンター入所での生
活訓練を経て、就労移行
支援事業所利用開始
週 5 日休みなく通所

X + 9 年 短時間就労開始

面談、雇用前実習を経
て、現職で雇用開始。
1 日 2 時間× 5 日

症状について

	労移行利用前～利用中
困	発的、自己中心的な言動が多く、 同じような質 を何度も繰り返す。
記憶・注意	・ エピソードを丸ごと忘れる、記憶がゆがむ。 例：「初めて聞きました」。
易疲労性	午後の訓練で座っていると眠る。 前日の疲れが残りやすい。
病識低下	人からのアドバイスを否定する。 各症状の自覚がない。

整理できた強み

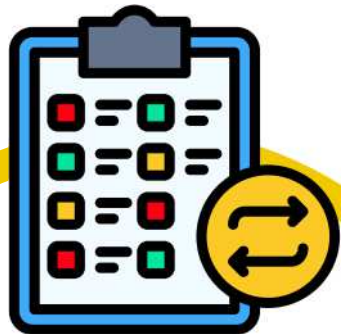
強み・弱みに対する工夫

- ✓ 好きなこと、興味があることには集中できる。
- ✓ 怒り感情はなく、素直に話を聞くことができる。底抜けに明るい。
- ✓ 体を使った手続き記憶は定着しやすい
- ✓ 体を動かせば、寝落ちしない
- ✓ 休まず、安定して通所できる。



見えてきた仕事・合っている環境

単純反復作業



1時間連続して
作業できる



体を使う作業



静かな環境



作業系業務

を提案したが
やりたい仕事以外に
意味・やる気を見いだせなかった…

雑用でしょ？

僕がする仕事じゃない



企業との出会い

複数回、事業所訪問した際に、
気にかけてくださっていた。

事業所内で朝終礼や集団訓練等、
社会に出た時のためと考え、
訓練をしていた。

素直な人柄
多彩な高次脳機能障害

「最近、話しかけるのが減っ
て落ち着いていますね」

「枠に当てはめようと
しすぎているかも？」

「障害も個性のひとつ」
「何かお役に立てるなら、
お話をしましょう」

働く意味を伝えてほしい、と企業へ相談

企業から話して下さったことは

仕事に上も下もない。
今この瞬間を生きて。

やりたい仕事ではなく、
できる仕事をするのが
大事。

どんな仕事でも一生懸命
やる姿が格好良い。

「生き方を変えたいになりました」
「ここで働きたいです。」

↓
実習へ



実習～雇用ステージでの綿密なステップアップ

実雇用を想定した実習を計 8 日間実施。



工程をひとつひとつ伝える

マンツーマンレクチャー



エレベーター同行

- ・病院の職員食堂にて
8 : 4 0 ~ 1 0 : 4 0 で清掃
を担当。
- ・雇用前実習～雇用開始当初は
各工程に職員が同行。
- ・出勤～ロッカーへ移動～
清掃道具準備～食堂へ移動～
清掃～後片付け～退勤

出勤

出勤

EV

ロッカーへ

準備

更衣

荷物準備

打刻

道具準備

1階へ

道具配置

業務

椅子を
動かす

モップで
拭く

ボトルキャップ
を置く

100席周る

掃く

片付け

キャップ回収

道具回収

荷物運搬

片付け

退勤

打刻

ロッカーへ

更衣

退勤

ナチュラルサポートによる雇用の継続

約半年かけて清掃工程が自立したが…



準備も含め、工程は自立



黙々と一人で清掃



でもコンシェルジュへ話しかけ

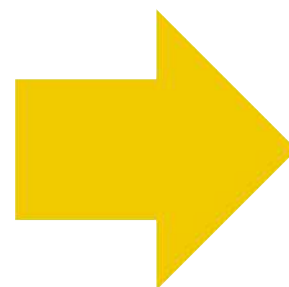
- ・業務はできているが、その他の場面で職場の負担が増えてしまっている。
- ・抑制低下により、他部署の人へ不要な話しかけをする。
- ・業務上は必要のない質問を繰り返し、職員の手を止めてしまっている。

特性への対応

他部署へ本人の特性および対応方法を説明

不必要なやり取りは省略
できるよう、
業務は極力一人で実施

現場スタッフと
定着支援面談により
本人へ繰り返し提示



試行錯誤しつつ
雇用継続

本人、企業の努力により実現した 短時間就労の継続に必要な要素

- ✓ 働く意味や意義の理解
⇒働き続けるモチベーションへ
- ✓ 細かい段階付けと環境調整
⇒抑制や記憶低下を抑え、業務が定着
- ✓ 次々に起こる課題に、諦めずに対応し続けること
- ✓ 一人ではなく、皆で支え合える体制

NPO法人クロスジョブ クロスジョブ福岡 萩原敦

お問い合わせ

メール hagihara@crossjob.or.jp
お電話 092-753-6861